

災害を最小限に食い止める第一歩

防災訓練を実施しました



i Padを操作しながら災害に強い情報連携システムの説明を受けました



非常時でも作れる料理が提案されました



備蓄食糧は大切です



災害時を想定して徒歩での参集を推奨しました

3月23日、木原小学校にて防災訓練が行われました。
この訓練は、安中小・大谷小・木原小の学区ごとに実施する計画となっており、第2回目の今年度は木原小学校の住民を対象に行われました。
当日は天候に恵まれ、朝日から注がれる温かい日差しのもと、午前9時までに115名の地区住民の皆さまが会場に参集されました。
参加者は5つの班に分かれ、会場に設けられた6カ所の体験コーナー（水消火器による消火器取扱訓練、応急担架作成搬送訓練、煙体験ハウスでの煙体験、バケツリレーによる消火訓練、心臓マッサージとAED〔自動体外式除細動器〕による心肺蘇生訓練、災害に強い情報連携システムのデモンストレーション）で、指導員や担当者の丁寧な説明や指導のもと、真剣に訓練を受けていました。

本部協のテントには3日分の備蓄食料セットが展示されたほか、備蓄用飲料水（500mlペットボトル）・非常食用の炊き込みご飯や豚汁が参加者に振る舞われました。
また、村食生活改善推進連絡協議会から非常時でも料理できるレシピや実際の料理が配られ、参加者に試食していただきました。



棒と毛布で即席担架ができます



絶え間ないバケツの列が見事です



手を重ねてひしを伸ばして



水の入った消火器で操作や消火の手順を体験

生命および財産を災害から守る防災対策は、疎かにできない重要な施策の一つです。
有事の際には、地域や身近な人々がお互いに協力しながら防災活動に取り組むことが、被害の軽減につながります。
この訓練を受けた皆さんが手本となつて対応の仕方が周囲の人々に伝わっていくことにより、災害時の対応力が向上することが期待されます。